

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 4 区分
 【発行日】平成25年11月28日 (2013.11.28)

【公開番号】特開2013-53347(P2013-53347A)
 【公開日】平成25年3月21日 (2013.3.21)
 【年通号数】公開・登録公報2013-014
 【出願番号】特願2011-192600(P2011-192600)
 【国際特許分類】

B 2 2 F 1/00 (2006.01)

H 0 1 B 5/00 (2006.01)

C 2 5 C 1/12 (2006.01)

【F I】

B 2 2 F 1/00 L

H 0 1 B 5/00 H

C 2 5 C 1/12

【手続補正書】

【提出日】平成25年10月15日 (2013.10.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

レーザー回折散乱式粒度分布測定装置によって測定される比表面積（「球形近似比表面積」と称する）に対する B E T 一点法で測定される比表面積（「B E T 比表面積」と称する）の比率（B E T 比表面積 / 球形近似比表面積）が 6 . 0 ~ 1 1 . 0 であることを特徴とするデンドライト状銅粉。

【請求項 2】

走査型電子顕微鏡（S E M）を用いて銅粉粒子を観察した際、一本の主軸を備えており、該主軸から複数の枝が斜めに分岐して、二次元的或いは三次元的に成長したデンドライト状を呈し、かつ、主軸の太さ a が 0 . 3 μ m ~ 5 . 0 μ m であり、主軸から伸びた枝の中で最も長い枝の長さ b が 0 . 6 μ m ~ 1 0 . 0 μ m であるデンドライト状を呈する銅粉粒子が、全銅粉粒子のうちの 8 0 % 以上を占めるように含有する請求項 1 記載のデンドライト状銅粉。

【請求項 3】

上記のデンドライト状を呈する銅粉粒子は、主軸の長径 L に対する枝の分岐本数（枝本数 / 長径 L）0 . 5 本 / μ m ~ 4 . 0 本 / μ m であることを特徴とする請求項 2 記載のデンドライト状銅粉。